

平成30年第10回

# 武蔵村山市教育委員会定例会

平成30年10月19日

武蔵村山市教育委員会



## 平成30年第10回武蔵村山市教育委員会定例会

1. 日 時 平成30年10月19日（金）

開会 午前 9時30分

閉会 午前10時15分

2. 場 所 武蔵村山市役所5階 委員会室

3. 出席委員 池 谷 光 二（教育長） 土 田 三 男  
杉 原 栄 子 比留間 雅 和  
潮 美 和

4. 説明のため出席した者の職氏名

教育部長	田代 篤	学校教育担当部長	佐藤 敏数
教育総務課長	井上 幸三	教育施設担当課長	指田 光春
指導・教育センター担当課長	勝山 朗	学校給食課長	児玉 眞一
文化振興課長	宮沢 聖和	スポーツ振興課長	指田 政明
図書館長	加藤 秀郎	指導主事	今井 一馬
指導主事	加藤 由裕		

5. 会議に出席した事務局の職員

教育総務課教育政策係	市場 直樹
	東出 真実

## 議事日程

- 1 会期の決定
- 2 前回会議録の承認
- 3 教育長報告
- 4 議案第43号 武蔵村山市教育委員会事務局職員の任命に係る臨時代理の承認について
- 5 その他

**◎開会の辞**

○池谷教育長 本日の会議に際し、1名の方から傍聴の申し出があり、武蔵村山市教育委員会  
会議規則第29条の規定に基づき、会議の傍聴を許可しましたので、報告いたします。

本日の出席委員は全員でございます。

これより平成30年第10回武蔵村山市教育委員会定例会を開会いたします。

---

**◎議事日程の報告**

○池谷教育長 本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりでございます。これに  
御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認め、配付のとおり決定いたします。

---

**◎日程第1 会期の決定**

○池谷教育長 日程第1、会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期は、本日限りといたしたいと思っております。これに御異議ございませんでし  
ょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認めます。

したがって、会期は本日限りといたします。

---

**◎日程第2 前回会議録の承認**

○池谷教育長 日程第2、前回会議録の承認を議題といたします。

本件は、これを承認することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認めます。

よって、本件は承認されました。

---

**◎日程第3 教育長報告**

○池谷教育長 日程第3、教育長報告を議題といたします。

1点目でございますが、平成30年度教育関係寄附に対する感謝状の贈呈者一覧についてでございます。

資料1を御覧いただきたいと思えます。

内容につきましては、教育総務課長から報告いたします。

井上教育総務課長、お願いします。

○井上教育総務課長 それでは、平成30年度教育関係寄附に対する感謝状の贈呈者一覧について御報告いたします。

平成29年9月1日から平成30年8月31日までの間で、市の表彰規程に当てはまらない本市の学校教育、社会教育のために御寄附をいただいた個人及び団体に対しまして、教育委員会から感謝状を贈呈したいと考えております。

まず初めに、学校への寄贈について御報告申し上げます。

まず、第二小学校に対しまして、株式会社いなげや様から、じょうろ、ポリバケツ及び移植ごとの寄贈が、第一小学校に対しまして、青梅信用金庫様から、集会用テントの寄贈が、第三中学校に対しまして、第三中学校PTA様から、テントの寄贈が、第五中学校に対しまして、池谷剛一様から、図書の寄贈がそれぞれございました。

次に、図書館への寄附でございます。

武蔵村山市更生保護女性会様から、図書購入を目的とした寄附がございました。武蔵村山市更生保護女性会様からは毎年寄附をいただいております。

次に、歴史民俗資料館への寄贈でございます。

谷津自治会様から、谷津膳椀資料一式の寄贈が、野崎富次様から、下駄製作道具一式の寄贈が、また、中村連合自治会様から、青年団団旗・記録簿等の寄贈がございました。

最後になりますが、図書館及び市内全小・中学校に対しまして、村山うどんの会様から、図書の寄贈がございました。

以上、今年度の感謝状の贈呈は9件となっております。

報告は以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、2点目でございます。

平成30年度学校選択制申請状況（平成31年度入学）についてでございます。

資料2を御覧いただきたいと思えます。

内容につきましては、教育総務課長から報告いたします。

井上教育総務課長、お願いします。

○井上教育総務課長 それでは、平成30年度学校選択制申請状況（平成31年度入学）について、御報告を申し上げます。

平成31年4月に中学校に入学する新1年生を対象とした学校選択制の申請を9月に受け付けをした結果でございます。本年度は118人の申請がございました。

なお、今後、三者面談を実施することから、申請者への結果通知は12月上旬を予定しております。

平成31年度の入学対象者数は754人で、約15.6%の児童が学校選択制の申請を行っております。

なお、平成28年度については、745人の入学予定者のうち申請は96件で、12.9%、平成29年度については771人の入学予定者のうち申請は134人で、約17.4%の実績でございました。

それでは、資料の上段の表を御覧いただきたいと思います。

各中学校の状況でございますが、表の縦が転入、横が転出でございます。第一中学校は、転入63人、転出37人、26人の増、村山学園中学部については、転入1人、転出7人、6人の減、第三中学校は、転入23人、転出6人、17人の増、大南学園第四中学校は、転入29人、転出8人、21人の増、第五中学校は、転入2人、転出60人、58人の減となっております。

中段の表、主な理由でございますが、友人関係、通学距離、部活動、兄弟関係、また、その他の主な理由では、学校の設備・施設、通学の安全、伝統・校風、進学実績などが挙げられております。

下段の表の右側の申請後入学予定者、クラス数予定の欄を御覧いただきたいと思います。こちらにつきましては、今後、学校選択の辞退者などが発生することにより変動することが予想されます。あくまでも現時点での学校選択の申請件数を基礎として算定した数値ということでございますが、参考として御報告をさせていただきます。

第一中学校は、211人で7クラス、村山学園中学部は、72人で3クラス、第三中学校は、116人で4クラス、大南学園第四中学校は、117人で4クラス、第五中学校は、185人で6クラスでございます。

なお、クラス数につきましては、平成31年度に東京都の学級編制基準が、中1ギャップの教員加配により35人学級編制となった場合によるものでございます。

また、今後、就学予定の転入者につきましては、受け入れ枠の範囲内で選択が可能な旨、御案内をしていく予定でございます。

御報告は以上でございます。

○池谷教育長　続きまして、3点目でございます。

第43回市立中学校総合体育大会の結果についてでございます。

資料3を御覧いただきたいと思えます。

内容につきましては、指導・教育センター担当課長から報告いたします。

勝山指導・教育センター担当課長、お願いします。

○勝山指導・教育センター担当課長　それでは、第43回中学校総合体育大会結果について、御報告いたします。

本年度の市立中学校総合体育大会は、7月7日に開会式を行い、その後、市内各中学校の運動部活動8種目において、学校対抗の試合形式で競技が行われました。7月7日の開会式では、バスケットボール部によるエキシビジョン競技が行われました。当日は、教育長、教育委員の皆様を初め、多くの方に御参観、応援をいただきました。

実施いたしました8種目の競技に676人の中学生が参加いたしました。結果等につきましては、資料3の裏面に掲載いたしました。

教育委員会といたしましては、今後とも中学校部活動の一層の活性化を図ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

○池谷教育長　続きまして、4点目でございます。

平成30年度武蔵村山市立小・中学校研究発表会についてでございます。

資料4を御覧いただきたいと思えます。

内容につきましては、指導・教育センター担当課長から報告いたします。

勝山指導・教育センター担当課長、お願いします。

○勝山指導・教育センター担当課長　それでは、平成30年度武蔵村山市立小・中学校研究発表会について、御報告いたします。

こちらは、今年度実施いたします研究発表の日時等について、一覧にまとめたものがございます。

2段目、大南学園第四中学校が平成30年11月21日水曜日に、東京都道徳教育推進拠点校としての発表を行います。

3段目、第五中学校の研究発表会は、東京都人権尊重教育推進校として、平成30年12月19日水曜日に実施いたします。



4 段目、第八小学校は、市の特色ある学校づくり推進校としての発表となり、平成31年2月8日金曜日に実施をし、市内全小・中学校の教員が参加いたします。

5 段目、大南学園第四中学校の2回目の発表でございますが、東京都スーパーアクティブスクールとして、平成31年2月15日金曜日に実施いたします。

また、全ての学校の研究発表は、それぞれ重要な教育課題への取組となっていることから、できる限り多くの教員が参加できるよう、各校長に依頼をしていくところでございます。

教育委員会といたしましては、各学校の研究を通して、児童・生徒の生きる力を育めるよう、引き続き支援をまいります。

以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、5点目でございます。

平成30年度授業改善推進プランについてでございます。

資料5を御覧いただきたいと思っております。

内容につきましては、指導主事から報告いたします。

今井指導主事、お願いします。

○今井指導主事 それでは、授業改善推進プランについて、御説明いたします。

授業改善推進プランは、東京都教育委員会及び本市教育委員会、児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果分析に基づき、授業を改善するための計画として、各学校において作成したものでございます。

別冊の資料5には、武蔵村山市立学校全校分の授業改善推進プランを行政順でとじてございます。今年度作成した中で特徴的な2校に絞り、御説明いたします。

まずは第三小学校です。34ページを御覧ください。

第5学年を対象としました都調査の結果分析です。国語の右側の欄にあります「解決する力」においては、都の平均正答率を上回っており、文章の意図や背景、理由などを理解・解釈して解決する力が備わってきていることがわかります。

今年度の課題におきましては、算数において平均を大きく下回る傾向にあり、課題があることがわかります。基礎・基本の未定着により、思考・判断・表現による問題解決に至っていない点が指摘されています。

これらの課題に基づいて、35ページの全体計画がまとめられております。算数の課題を改善するための取組としては、下の段にあります授業の改善に向けた視点、全校共通で取り組む事項にまとめられております。

基礎・基本の定着のために15分間の朝学習を設定し、身につけた知識を授業の中で生かすために、算数の授業研究を進めております。授業研究による改善に加えて、校内の学習環境についても改善を進めており、朝学習やベーシックドリル等のプリント類の整備、ICT機器を含めた教材教具の配備など、授業を支える物的な環境についても見直しを図っております。

そして、36ページからの各学年の推進プランでは、東京ベーシック・ドリルの活用によるさらに詳細な課題分析、ICTを活用し、視覚的に捉えやすい教材提示等が改善策として示され、日々の授業改善として生かされております。

ICTの活用については、算数だけでなく、他教科でも活用が進んでおります。10月31日、第三小学校で開催されます授業実践交流会においては、この授業改善推進プランをもとに、多くの会場で電子黒板やタブレットなどのICT機器を活用した授業が公開されます。教育委員の皆様にも授業改善の一端を御覧いただければ幸いです。

次に、第三中学校です。172ページを御覧ください。

第2学年を対象とした都調査の結果分析です。観点別結果の分析については、多くの教科で関心・意欲・態度の観点が都の平均よりも高くなっております。国語における資料の読み取りからは、文章にする問題、社会科における各観点の正答率の上昇は、第三中学校が取り組んでいる新聞を活用した教育、NIEの推進の成果と考えられます。

課題としましては、基礎的な学力の定着です。漢字、計算、英単語といった基礎的な学習の反復を演習プリントや家庭学習を通して行い、学力の定着を図っていく必要がございます。

下段の第1学年を対象とした市調査の結果分析を御覧ください。

国語では、「話す・聞く」能力が平均より低いことがうかがえます。数学においては、関心・意欲・態度の低さから、主体的に学習する場面の設定が求められています。

これらの点から、新学習指導要領で掲げられている主体的・対話的で深い学びへの授業改善が課題として浮かび上がっております。

これらの課題に基づいて、173ページの全体計画がまとめられております。

課題を改善するための取組としては、下の段にあります授業改善に向けた視点、全校共通で取り組む事項に記載されております。基礎・基本の定着として、放課後や夏季休業中等の補習教室を活用しております。

対話的な学びの実現に向けては、校内研究を通して、指導内容、指導方法の工夫を図っております。

そして、174ページ以降の各学年の推進プランでは、スピーチやグループでの話し合い活動を取り入れ、他の意見を尊重し、理解するとともに、自分の考えを深め、学習に生かせるよう、各教科においての具体的な授業改善が挙げられております。

説明については以上とさせていただきます。

各学校においては、このプランをもとに具体的に日々の授業改善を行っております。学力向上を図るためには、児童・生徒ができなかったことをそのままにするのではなく、できるようになるまで反復する基礎・基本の定着と、児童・生徒が主体的・対話的に学びを深められる授業改善が必要となります。

教育委員会といたしましては、各学校のプランに基づいた各校の取組の充実に向けて指導・助言をしておりますので、御理解を賜りますよう、お願いいたします。

以上でございます。

○池谷教育長　続きまして、6点目でございます。

モンゴル料理風給食の実施についてでございます。

内容につきましては、学校給食課長から報告いたします。特に資料等はございません。

児玉学校給食課長、お願いいたします。

○児玉学校給食課長　それでは、学校給食課から、モンゴル料理風給食の実施について、口頭でございますが、御報告いたします。

本年9月15日号の市報の1面におきまして、武蔵村山市とモンゴル国との交流の特集記事が掲載されておりましたが、昨年12月、本市はモンゴル国のホストタウンとして登録されました。

今後は、市を挙げてスポーツや文化面等でのさまざまな交流事業が展開されることと思いますが、教育委員会といたしましても、将来を担う子供たちに学校給食を通じた国際理解教育や食育の一環となるよう、モンゴル国の料理にちなんだ給食を提供することといたしました。

献立の予定につきましては、去る9月28日に開催いたしました試食会のおりでございますが、実施日につきましては、ホストタウン登録からちょうど1年となります12月11日火曜日を予定しております。

今回のモンゴル料理風給食の実施を通しまして、学校教育の教育的な面のみならず、子供たちにとって思い出に残る給食になればと考えております。

報告は以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、7点目でございます。

第49回市民文化祭の開催についてでございます。

資料6（別冊）を御覧いただきたいと思えます。

内容につきましては、文化振興課長から報告いたします。

宮沢文化振興課長、お願いいたします。

○宮沢文化振興課長 それでは、第49回市民文化祭の開催について、御報告いたします。

市民文化祭のプログラムを御覧いただきたいと思えます。平成30年11月3日土曜日、文化の日から、11月23日金曜日、勤労感謝の日までの土日、祝日に市民会館さくらホールで開催いたします。

主催は、武蔵村山市文化協会の市民文化祭実行委員会、共催が、武蔵村山市教育委員会でございます。

開会式につきましては、11月3日の午前11時20分から市民会館さくらホールの大ホール・ホワイエで実施いたします。教育長並びに教育委員の皆様には、お忙しいところ大変恐縮でございますが、御参加いただきますよう、よろしくをお願いいたします。

市民文化祭は、市民の日ごろの文化活動の成果を発表する場で、内容につきましては、音楽や日本舞踊等の発表部門が10部門で、大ホール及び小ホールで行われます。囲碁や郷土史等の展示部門につきましては11部門で、展示室や会議室等で実施し、体験コーナーを設ける部門もございます。

報告につきましては、以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、8点目及び9点目の2件を一括して報告いたします。

8点目、平成30年度武蔵村山市少年・古希軟式野球チーム親善試合の開催結果について、9点目、平成30年度武蔵村山市スポーツ都市宣言記念事業「パラスポーツに学ぶ！～車いすバスケ～」の開催結果についてでございます。

資料7及び8を御覧いただきたいと思えます。

内容につきましては、スポーツ振興課長から報告いたします。

指田スポーツ振興課長、お願いします。

○指田スポーツ振興課長 それでは、資料7、資料8について、一括して報告いたします。

初めに、資料7、平成30年度武蔵村山市少年・古希軟式野球チーム親善試合の開催結果について、報告いたします。

9月15日土曜日に開催した本事業につきましては、雨の影響もあり、親善試合は中止とい

たしましたが、会場を総合体育館第一体育室に変更し、午前10時から開会式、午前10時30分から正午まで、そして、午後1時30分から午後2時15分までは、室内用ボールを使用した野球教室を行いました。野球教室には、少年野球チームから65人が参加し、前千葉ロッテマリーンズ監督の伊東勤さん、元西武ライオンズ野手の清水義之さんによる指導をいただきました。午後3時から、伊東さん、清水さんによる講演会を総合体育館第二、第三体育室で行い、各野球チームや一般参加者など、186人が参加したところでございます。

続きまして、資料8、平成30年度武蔵村山市スポーツ都市宣言記念事業「パラスポーツに学ぶ！～車いすバスケット～」の開催結果について、報告いたします。

9月30日日曜日に開催した本事業につきましては、シドニーパラリンピック車いすバスケットボール日本代表で主将を務めておりました根木慎志さんを講師にお招きし、「パラスポーツを知る、学ぶ！」と題したスポーツ講演会、そして、「パラスポーツから見つけるスポーツの極意」と題したスポーツ教室を行いました。参加者は、講演会が38人、スポーツ教室が41人の延べ79人で行いました。

会場である総合体育館入り口には、オリンピック・パラリンピックフラッグを、そして、会場内にはオリンピック・パラリンピック関係のパネル等を展示するなど、東京2020大会の機運醸成にも努めたところでございます。

教育長並びに教育委員の皆様におかれましては、御多用の中、開会式、講演会等に御出席をいただき、また、パラスポーツを体験いただき、ありがとうございました。お礼申し上げます。

以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、10点目でございます。

図書館除籍資料の無償配布についてでございます。

資料9を御覧いただきたいと思っております。

内容につきましては、図書館長から報告いたします。

加藤館長、お願いします。

○加藤図書館長 それでは、図書館除籍資料の無償配布について、御報告いたします。

この事業は、武蔵村山市立図書館資料廃棄基準に基づき除籍した図書を、毎年、市内の公共施設や市民へ無償配布し、資料の再活用を図るものでございます。

今年度は11月9日金曜日、午後1時から市内小・中学校のほか、保育園、児童館等の公共施設を対象として、また、11月10日土曜日は、午前10時から午後3時まで、一般市民の方を

対象として実施いたします。

なお、会場につきましては、市民総合センター3階でございます集会室で実施することとしており、配布する資料は約9,500冊程度を予定しています。

図書館からは以上でございます。

○池谷教育長 教育長報告は以上でございます。

11点目のその他でございますが、特に報告等はございません。

教育長報告に対する質疑等があればお受けいたします。

いかがでしょうか。

土田職務代理人、お願いします。

○土田職務代理人 授業改善推進プランに関連して、ちょっと質問が外れるかもしれませんが、あわせて要望したいと思います。

実は、本年9月の初めに、東京都の施設であるお台場にあるTOKYO GLOBAL GATEWAYが開設いたしました。過日、池谷教育長を初め、教育委員の私たちが視察してまいりました。

なかなかの施設で、やはり東京都の財政の豊かさを感じたところでございますが、実際にこのTOKYO GLOBAL GATEWAY、略称で言うとTGGという施設名で、英語体験ができる施設です。各小学校では、現在英語活動というところで、それぞれ各学校で、3年生ぐらいから実際にやっているんですね、英語の体験をALT等を含めてしているわけですが、今後この英語科が入ってくる中で、これは1つ、道が外れますけれども、要望したいのは、実際に第三小学校の6年生は今年行かれています。そして、この授業推進プランでも、英語活動の中ではTGGの体験を大切にして、外国語を学ぶ必要性を一人一人に気づかせる、こういう項目で進んでいきたいという考えが示されております。

しかしながら、私たちの武蔵村山市から都内のお台場に子供たちをこぞって連れて行く、なかなか経費的にも、校外活動ですから、大変な保護者の出費もあります。そこで、直ちにこれらは実らないかもしれませんが、これから英語科が進む中で、教育委員会としても学校に対する予算配当、これは毎年、今の時期、皆さん方は31年度予算編成に取りかかっている、大変な時期だと思いますけれども、これらを一長一短、1年の要望ですぐ実現するというのはなかなか難しいことですから、実績づくりとして、今後こういった活動に対する今もっている予算のもっと別枠で、市長部局のほうに要求を今後していただきたい。そして、各校が進んで子供たちを連れて行けるような環境をつくってもらいたい。こういうように考えておりますが、いかがですか、部長。

○池谷教育長 勝山指導・教育センター担当課長、お願いします。

○勝山指導・教育センター担当課長 お答えいたします。

市の財政状況等も鑑みまして、今、各学校の研究の予算等もいろいろと考えているところでございます。土田委員から今お話のありました、いわゆるTOKYO GLOBAL GATEWAY等への体験活動をさせるための予算要求というところでございますが、実際の今の状況からいたしますと、なかなか難しい部分があるのかなと思う部分もございます。

ですので、教育指導課として今考えてございますのは、今ある資源を有効活用して、子供たちの体験活動に資するものがないかどうか。具体的には、例えば直接雇用をしておりますALTが子供たちと一緒に、このTOKYO GLOBAL GATEWAYに似たような体験活動を例えば土曜日、日曜日等に開催し、そこに進んで学習しようとする子供たちを募って実施する、こういうまずはできることから実施をし、あわせて今、土田委員から御要望がありました予算配当の要求等もちちらとしては進んで考えていきたいというふうに考えているところでございますので、御理解をいただければと思います。

以上でございます。

○池谷教育長 土田職務代理人、お願いします。

○土田職務代理人 一つのきっかけとして、できるところからしていかれると非常にありがたい、心強いお考えを伺いました。

これはきっかけであって、今後進む中の道としては、せっかくの都の施設ですから、そういうものの有効活用をしていく。しかし、そのためには、一つのギャップもありますので、それらを直ちに成果を見るのではなくて、どんどん積み重ねていく必要があると思います。現在の武蔵村山市政は、教育に非常に力を入れてくださっております。これは非常に私たちとしてもありがたい限りでありますので、そういった時期でもありますので、タイミングを捉えて、まず教育予算の獲得を地道に行っていただきたいと、これちょっと道が外れますけれども、そういうようなことを要望しておきます。

以上です。

○池谷教育長 よろしいですか、ありがとうございます。

土田職務代理人、私のほうからもちょっと情報提供ということで、26市の教育長会の中でも、やはり市部はなかなか行けないと、現状では。ということがございますので、都のほうにもこの要望は、何とかしてほしいということで要望しておりますので、継続的に、できれば多摩地区にも同じようなものをつくってほしいなんていうようなことも、話題は出たんで

すけれども、それもなかなか厳しいものですから、市の問題もあると思います、都のほうにも教育長会としては要望しております。

私からの報告は以上でございます。

その他いかがでしょうか。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 同じく授業改善の推進プランについてです。各学校が調査の結果や、子供たちの実態を受けて、各学校で推進プランを立てて取り組もうとしていらっしゃることは、すばらしいと思います。ぜひ学力向上に向けて各学校推進していただければありがたいと思います。

もう一点、学力調査についてですが、各教科や項目によっては、例えば関心・意欲・態度とか、式理解、技能、取り出す力などは都を上回るようなところもあり、少しずつ成果が見えてきたかなと思います。また、少しずつ各学校の成果が見えて、都との差が縮まっているということも感じます。

ただ、まだ課題も見えるわけですが、現在の段階で教育委員会として、武蔵村山の子供たちのために、成果と課題をどのように捉えて、これから取り組もうとしていらっしゃるのか、お聞きできればありがたいと思います。

○池谷教育長 ありがとうございます。

今井指導主事、お願いします。

○今井指導主事 では、お答えいたします。

武蔵村山市の現在の課題としましては、授業改善推進プランにもありましたように、基礎・基本の定着、それから問題解決的な学習の流れという、この2つの結びつきという部分にあります。

先ほども報告いたしましたとおり、基礎・基本の定着のために東京ベーシック・ドリル等を活用した各学校の取組、そして主体的・対話的で深い学びを実現するために、問題解決的な学習課程を意識した各学校でベーシックとなる学習課程を組んでいただいております。そういった流れを各校だけではなく、現在は一貫校、それから各中学校区において情報を共有し、共同で研究を進めております。

さらには今年度、学力向上推進委員会で三部会を設定しております。調査研究部会、反復学習部会、授業改善部会、こちらのほうの部会からは市全体を俯瞰していただいて、その中で学力向上をどのようにしていくかということで、東京ベーシック・ドリルのさらなる詳細な分析、ICT機器の活用、授業改善推進プランのより効果的な活用という3点に基づいて、



今調査・研究を進めているところでございます。

以上でございます。

○杉原委員 ありがとうございます。

問題解決の過程を大事にしながら授業を展開し、そして研究もなさっているということで、引き続きよろしくをお願いします。

ただ、課題を見ると、思考力・判断力がやはり少し弱いということを考えると、今のよう  
に、問題解決の過程で研究を進められるというのは有効と思うのですが、例えば自力解決の  
時間に、一人一人子供たちの考え方は違うので、その一人一人の子供の持っている力で解決  
させてあげないと、子供の考える力は伸びないかなと思います。

また、一人一人の子供が考えて、解き方が違うから、先生方がその子供たちを見てどう理  
解を深めるか、高めるかというところで、先生方の指導力がさらに高まっていくんじゃない  
かと思います。

そのような点で、思考力・判断力に着眼点を置いて、子供たちがどう考えて、どのように  
解いて、そして先生方が子供たちの思考過程についてどう理解を深めたか、そういうあたり  
なども大事にしながら、さらに学力向上に向けて支援・指導をしていただければと思います。

よろしくをお願いします。

○池谷教育長 ありがとうございます。

その他いかがでしょうか。

では、比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 学校選択制のことについてなんですけど、昨年も第一中学校への転入というのが  
非常に多かったのを記憶しておりまして、そういった中で今年も、特に第五中学校の学区か  
ら第一中学校への転出、転入というのが目立って見られるところなんですけど、この主な理由  
というところを見ますと、第五中学校のおおむね60名近くの子供たちが第一中学校に行く理  
由というのが、詳細というか、内訳がちょっと見えづらいところもあるかと思うんですが、  
この中で、友人関係、部活動なんていう理由が多く見られると思うんですけども、五中の  
この子たちも同様の理由と考えてよろしいのでしょうか。

○池谷教育長 井上教育総務課長、お願いいたします。

○井上教育総務課長 それでは、お答えさせていただきます。

第一中学校への転入を希望する申請者の中でございますが、私どものほうでは、申請をお  
受けする際に、簡単なアンケートをお願いしております。その中の御意見を見てみますと、

第五中学校区の方が第一中学校を希望される方のアンケートの結果でございますが、一番多いのがやはりクラブ活動、2番目が友人関係、3番目が学校設備・施設面というような御回答をいただいている状況でございます。

以上でございます。

○池谷教育長 よろしいでしょうか。

その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 では、これをもちまして教育長報告を終わります。

---

◎日程第4 議案第43号 武蔵村山市教育委員会事務局職員の任命に係る臨時代理の承認について

○池谷教育長 日程第4、議案第43号 武蔵村山市教育委員会事務局職員の任命に係る臨時代理の承認についてを議題といたします。

教育総務課長より、議案の朗読をいたさせます。

井上教育総務課長、お願いします。

○井上教育総務課長 それでは、議案を朗読いたします。

議案第43号 武蔵村山市教育委員会事務局職員の任命に係る臨時代理の承認について。

教育委員会事務局職員の任命について、別紙のとおり臨時に代理したので、教育委員会の承認を求めます。

平成30年10月19日、武蔵村山市教育委員会教育長。

別紙についての朗読は省略させていただきます。

以上でございます。

○池谷教育長 それでは、議案第43号の提案理由を説明させていただきます。

教育委員会事務局職員を任命する必要があり、平成30年9月21日付をもって臨時に代理したので、本案を提出するものでございます。

なお、内容につきましては、教育部長から説明いたさせますので、よろしく御審議の上、御承認を賜りたく、お願い申し上げます。

田代教育部長、お願いします。

○田代教育部長 それでは、議案第43号 武蔵村山市教育委員会事務局職員の任命に係る臨時代理の承認について、御説明申し上げます。

この件につきましては、平成30年9月21日付で市長から協議があり、回答する必要が生じましたが、会議を開催するいとまがないことから、武蔵村山市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第3条第1項の規定に基づき、同日付で臨時代理いたしましたので、同条第2項の規定に基づき、御承認をお願いするものでございます。

別紙を御覧ください。

教育委員会の職員の平成30年10月1日付任命及び解任でございます。平成30年10月1日、武蔵村山市職員の人事発令が実施されましたが、これにあわせて教育委員会事務局職員の異動も行われ、それに伴い、任命の必要が生じたものでございます。

10月1日付の任命及び解任でございますが、係長職それぞれ1名となっております。

人事発令は以上でございます。よろしくお願いたします。

○池谷教育長 これより質疑に入ります。

いかがでしょうか。

特によろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。

いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 討論なしと認めます。

これをもって討論を終わります。

これより、議案第43号 武蔵村山市教育委員会事務局職員の任命に係る臨時代理の承認についてを採決いたします。

本案は原案のとおり承認することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○池谷教育長 ありがとうございます。

挙手全員でございます。

よって、本案は原案のとおり承認することに決しました。

ありがとうございました。

◎日程第5 その他

○池谷教育長 日程第5、その他に入ります。

委員からの報告等の御発言があればお受けいたします。

いかがでしょうか。特にはよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 ありがとうございます。

続きまして、事務局からの報告等の御発言があればお受けいたします。いかがでしょうか。

井上教育総務課長。

○井上教育総務課長 事務局からはございません。

以上でございます。

○池谷教育長 これをもってその他を終わります。

---

◎閉会の辞

○池谷教育長 以上で、本定例会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。

これをもって平成30年第10回教育委員会定例会を閉会いたします。

どうもありがとうございました。

午前10時15分閉会